

特別講演：講師プロフィール

森本 喜久男 氏

IKTT (Institute for Khmer Traditional Textiles；クメール伝統織物研究所) 代表。1948 年生まれ。
1996 年から内戦下で途絶えていたカンボジア伝統の絹織物の復興と、伝統的養蚕の再開に取り組む。

2003 年、IKTT のプロジェクトとして「伝統の森・再生計画」に着手。荒れ地を拓くところから始め、小屋を建て、井戸を掘り、畑をつくり、野菜・桑・綿花を栽培し、養蚕をし、自然染色の素材となる木々を植え、自給的な染め織りが可能な工芸村を立ち上げた。自然染料による染織を核にしつつも、人びとの暮らしの再生と、人びとの暮らしを包み込む自然環境の再生に取り組む IKTT のプロジェクトサイトを「伝統の森」と呼ぶ。

著書に『メコンにまかせ 東北タイ・カンボジアの村から』、『カンボジア絹緋の世界 アンコールの森によみがえる村』、『カンボジアに村をつくった日本人：世界から注目される自然環境再生プロジェクト』などがある。

第 11 回ロレックス賞受賞 (2004 年)、外務大臣表彰 (2014 年)、ソロブチスト日本財団より社会貢献賞 (2014 年)。

森本喜久男 氏 ウェブサイト：http://ikttjapan.blogspot.jp/p/blog-page_20.html



森本 喜久男氏 (写真中央列 左から 4 人目)

NPO 法人 京田辺シュタイナー学校

ドイツの哲学者・人智学者であるルドルフ・シュタイナー (1861-1925) の教育理念に基づく学校をつくりたいと願う親と教師が集まり、1995 年に土曜クラスを始めました。2001 年に全日制の学校になり、現在は小学 1 年生から高校 3 年生 (12 年生) まで 260 名を超える生徒が在籍しています。

京田辺シュタイナー学校の目指すもの

世界で起きている事柄に関して共感や関心を持ち、自分は何を成すべきかを考え、そして実際に行動できる人間の育成を目指します。希望を持って未来のあるべき姿を思い描く力、思い描いた未来に対して今できることを行動に移す力。この学校を巣立つ子供たちがその両方の力を持って新しい社会を創っていく人間になることを願っています。

12 年間一貫教育 —長期的な視点で子どもの成長をとらえ、真の力を引き出す学校—

京田辺シュタイナー学校の 12 年間は、8 年生 (中学 2 年生) までの初等・中等部と 9 年生から 12 年生までの 4 年間の高等部に分かれています。初等・中等部では一人の担任が 8 年間継続して受け持ち、一人ひとりに寄り添って成長を見守ります。高等部の担任は、8 年生までの過程をふまえてクラスやカリキュラムを引き継ぎます。高等部では、教科ごとに専門の教員や外部講師による授業が行われ、工芸・芸術・農業・福祉体験など様々な分野の実習も多く盛り込まれます。教員たちは、様々な機会に生徒たちが自ら考え行動することを促し、その手助けをしています。

また、2010 年京田辺シュタイナー学校は、NPO 法人の教育機関としては日本ではじめて、ユネスコスクールの加盟校となりました。ユネスコスクールは 1953 年にユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するために発足したもので、現在日本では ESD (持続発展教育) の推進拠点校・研究開発校としての役割を期待されています。京田辺シュタイナー学校の、12 年間の体系的なカリキュラムは、ESD の考え方も重なるユニークな実践例として注目を集めており、ユネスコスクールとしての活動にも活発に参加してきました。

NPO 法人 京田辺シュタイナー学校 ウェブサイト：<http://ktsg.jp>

■ 参加申し込み：お問い合わせ

上記の学校ウェブサイトから、または下の Fax 送信フォームをご利用の上、お申し込み下さい。(4/7 より受付を開始いたします)

Fax. 0774-34-0132

お問い合わせ先：e-mail: koho@ktsg.jp

※ 主催者より Fax 受信確認のためのご返信はとくにいたしません。予めご了承下さい。



京田辺シュタイナー学校 休み時間の風景
(「親と先生でつくる学校」より)
撮影：川島 一郎

手づくりの未来	FAX 申込書
お名前	FAX 番号
複数申込の場合は参加者全員のお名前を明記してください。	
お名前	お名前
お名前	お名前